

2018~19年度
国際ロータリーのテーマ



インスピレーションになろう



東京赤坂ロータリークラブ週報
Weekly Report

2018~2019年度クラブテーマ
会長 小林 博茂

東京赤坂ロータリークラブ

NO. 1473 / 2018. 12. 21

例会/ANA インターコンチネンタルホテル東京

Tel 03-3505-1111

事務局/〒107-0052 東京都港区赤坂 2-19-8

赤坂 2 丁目アネックス 3F

TeL 03-3505-5976

Fax 03-3505-6004

<http://www.akasakarotary.com/>

「手に届く奉仕、目に見える奉仕」

● 本日の例会 2018年 12月 21日 通算 1508回 本年度 第 23回

夜間例会 忘年家族会 18:00 開催

バイオリン、ギターのデュオ ミルベゼによるステージ

● 第 1507回 例会報告／2018年 12月 14日

出席報告：会員 55名 / 出席 29名 欠席 26名

卓話：

イニシエーション
スピーチ
高山 宇佳 氏



地区会員増強委員会より
岩上会員へ感謝状とバッ
チが届いています。



奉仕プロジェクト委員会：(藤井(万)委員長)

12/11 「紅いパン」 絵画展が開催され、智行基金より感
謝状を頂きました。

幹事報告：

①12/21 忘年家族会で開催されるbingo大会の景品の
ご協力をお願いいたします。当日お持ちいただいても
結構です。よろしくお願い申し上げます。

②3/22, 23 の親睦旅行の締め切りを 12月末日といたし
ました。数部屋空いておりますので、ご参加のほどよ
ろしくお願い申し上げます。

次年度幹事：

次年度臨時理事会により、2019-20 年度 SAA リーダー
は福田栄二会員と決まりました。



会長報告：

ロータリー財団より大日
方会員へポールハリス・
ソサエティ 入会者認証
状、感謝状、ピンを授与。

今後 の予定 (対象者 .. 全会員)	日付	開始時間 終了時間	場所	事項	内 容
	12月 21日	18:00 21:00	B1 ギャラクシー ANA インターコンチネンタルホテル東京	夜間 例会	忘年家族会 ミルベゼによるステージ (バイオリン、ギターのデュオ)
	12月 28日			休 会	
	1月 4日			休 会	
	1月 11日	12:30 13:30	B1 オーロラ ANA インターコンチネンタルホテル東京	例 会	卓話：「作家の視点によるハンセン病」 作家 高山 文彦 氏
	1月 18日	12:30 14:30	B1 オーロラ ANA インターコンチネンタルホテル東京	例 会	クラブ協議会 「上半期各委員会報告、 下半期各委員会計画」
	1月 25日	12:30 13:30	37F アリエス ANA インターコンチネンタルホテル東京	例 会	卓話：「未定」 医学博士 滝 和美 氏

12/14 イニシエーションスピーチ 高山 宇佳 氏



母、魏芝は四川省成都市の出身です。母の両親は共に四川省成都市にある電子科技大学で電子工学などを教える大学の先生でした。母には二人の妹がいます。その後母と父は、母の故郷、成都市で私を産んだ後、私が三歳の時に来日を

しました小中高ともに日本で過ごした後、アメリカに留学をするという平凡な人生を過ごしてきました。

会社は東京と上海にITソフトウェアの会社、設立が1997年3月、主な取引先が日本電気、キヤノンITS、NTTデータ子会社、野村総合研究所などです。こつそりと転職会議などで検索してみましたが、自分で言うのもなんですが、なかなか評判の良い会社でした。そして、北京にマラソンイベントサービスの会社を運営しています。こちらは設立が2000年ごろでした。当初は5人程度の会社だったのですが、中国のマラソンの発展に伴い、会社の規模も拡大して行きました。いまは、父が芝華健康事業を中心に事業展開しています。

未病、つまり、いかに病気にかからないためにどうするかの予防医学のことです。

先日、父が日本未病学会学術総会において、未病について発表がありました。

母は2017年9月18日に突然脳幹出血になりました。当日まで元気だったので、まったく信じられない出来事でした。悲しみから抜け出せない日々を過ごしていくと、ある方から高尾山にいる霊媒師に会ってみないかと紹介をされました。気晴らしにでもと思い軽い気持ちで高尾山をおとずれてみました。そこには背の低い台湾のおばちゃんがいました。事情を話すと、にっこり笑いながら目をつむりぶつぶつと呟き始めました。そして不思議なことに母の靈魂と対話が成立したのです。その台湾のおばちゃんは母と私しか知らないであろうことを話しあじめました。そして、それらの言葉は確かに母の言葉だったのです。そして、こう言いました。「おめどうござります、あなたのお母さんはこの世での行いがよかったです、現在は名のある菩薩様になられました」にわかには信じられない出来事でした。その日を境にそれらに関連する本をたくさん読み、考え出た結論が、母は今私たちがいる空間とは別の次元、別の空間に行ったのではないか、まだそこで生きているのではないか。今、私たちがいる空間とは違う空間が存在する、これは只の仮説でしかありません。一次元の世界が点で構成される世界です。二次元の世界が点と線で構成される空間です。三次元の世界が点と線と縦で構成される空間で

す。四次元が点と線と縦と時間軸で構成される空間です。五次元が点と線と縦と時間軸で構成される空間がセクタで分割された空間です。そして、今私たちがいる金銭を重視する物質世界で我々は日々試されているのではないかでしょうか。そして、欲や金銭、地位などに惑わされず善行を行った者が俗に言う‘天国’に行き悪行をした者が‘地獄’で裁きを受けるのではないかと考えました。

ゴールデンウィークの期間を利用して園覚菩薩のまつられている園覚寺に行きました。園覚寺はいくつもありましたが、四川省にある園覚寺に行きました。人里離れた場所にあるそのお寺には車で行きました。お寺の前に着いた時の雰囲気は‘千と千尋の神隠し’のような独特の雰囲気でした。神様が祭られている雰囲気というのは、こういったことなのかもしれません。説明を読むと、宋の時代からあるお寺のようです。車を降りて少し歩くと誰も住んでいない家がありました。そして、さらに歩くと三体の菩薩像がでてきました。そして仏さまと子供の像のようなものもありました。一番大きい菩薩様が祭られているであろうところには現在は公開していないようで、大きな門には鍵がかけられ更に門の両脇にはナイフか剣のようなものを持った像が二体置いてありました。門の隙間から中を少し除くと金色の肥った菩薩の像が見えました。一番大きいであろう菩薩像は門の隙間からは見えないところに飾られているようです。入口にある小店のおばちゃんに話を聞くと、やはりだいぶ前から公開はされていないとの事でした。しかし、そう考えると不思議なのです。宋の時代に作り、だいぶ前から公開されておらず、また人里離れた場所にあるのに外にかざってある菩薩像などには色あせたり、錆びたところがあまり見当たらず、しかし壁やお線香を置く場所などはすこし色あせたり、錆びたりしていました。仮に誰かが色を塗り替えたりしているのなら壁も同時に塗るだろうな、何故像だけが綺麗なままなのだろうと思っていました。そして、そのお寺を去りました。

そして今思うことは、ロータリーという素晴らしい土台を通じて寄付や慈善活動や善行を行っていれば、自分もいつか菩薩様に近づくことができるのではないか。菩薩様に近づくことができれば、またきっといつか菩薩様になった母とも再会することができるかもしれないのかなということです。



12月 14日 12件 25,000 円 累計 650,000円

多額の寄付を有難うございました。(敬称略)

小林博茂/金山驍/石井謙次/熊本誠司/入沢頼二/西澤民夫/高須康有/鵜飼光美/藤井万博/木下京子/藤井宏章/福田栄二/